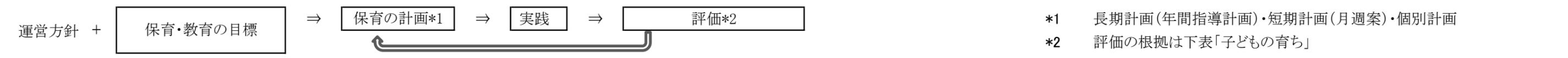


運営方針	子どもの権利の視点に立った保育を実践し、地域社会や保護者と力を合わせて子どもの最善の利益を実現します。	保育・教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自立的に生きる力を培うために子どもの発達を保障する環境を整えます ・「遊び」と「生活」を重視し、養護と教育が一体となった保育を実践します ・学びに向かう力や自分を大切に生きて生きる力を育てることを大切にしています
------	-----------------------------------------------------	---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



		年齢	産休明け～6ヶ月未満	おおむね6ヶ月～1歳3ヶ月未満	おおむね1歳3ヶ月～2歳未満	おおむね 2 歳	おおむね 3 歳	おおむね 4 歳	おおむね 5 歳	おおむね 6 歳
養護	生命の保持		生活リズムを大切にし、生理的欲求を満たしながら安心して過ごすようになる	生活リズムを大切にし、生理的欲求を満たしながら安定して過ごすようになる	安定した生活リズムを整え自分でしようとする気持ちが芽生えるようになる	安定した生活リズムが整い、自分でできた満足感を味わうようになる	自分でできる喜びを感じながら、基本的な生活習慣が身につくようになる	基本的な生活習慣を身につけ、意欲的に取り組めるようになる	基本的な生活習慣の意味が分かり、自主的に行動できるようになる	生活習慣が自立し、健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身につけるようになる
	情緒の安定		特定の保育士が優しく語りかけ、気持ちを受け止めたり応答的なふれあいや言葉がけでかかわることで情緒が安定するようになる	自分の気持ちを受け止め応答的にかかわられることで心地よさを知るようになる	自分の気持ちを安心して表せ、しぐさや言葉で伝えられるようになる	信頼できる保育士等に見守られながら、いろいろな活動に意欲的に取り組むようになる	自分の欲求を十分に満たし、安定感を持って過ごすようになる	自分でできた満足感を持ち、自信を持って行動できるようになる	友だちとの関わりの中で、相手の思いに気づけるようになる	身近な人とのかかわりの中で、自分で考え行動できるようになる
子どもの育ち	健康	伸びやかに伸びつ	リズムを大切にしながら健康な生活リズムに慣れるようになる	なめる、触れる、見る、聞くなどの経験をたくさんし、感覚を得て、手や指の機能を働かそうとする	身の回りの簡単なことを自分でしようとする気持ちが芽生えるようになる	歩く、走る、跳ぶなどの全身を使った遊びや、つまむ、丸める、めくるなど手や指を使う遊びを楽しむようになる	遊びの中でのびのびと体を動かす楽しさを味わうようになる	自分でできることに喜びを持ちながら、健康、安全など生活に必要な基本的な生活習慣を身につけるようになる	自分でできることの範囲を広げながら、健康、安全に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけるようになる	自分でできることの範囲を広げながら、健康、安全に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけ、その大切さを理解して主体的に行動するようになる
		人間関係	特定の保育士とのかかわりの中で信頼感が芽生え、自分の甘えや要求を表し、気持ちが満たされ安心するようになる	安心できる保育士等の愛情豊かなかかわりややりとりの中で、信頼関係を深めるようになる	安心できる保育士等のもとで、身近な大人や友だちに関心を持ち、かかわろうとする	保育士等とのかかわりや玩具、玩具などを通して満足して一人遊びをするようになる	身近な人と関わり、友だちと遊ぶ中で決まりがあることを知るようになる	友だちとのつながりを広げ、集団で活動することを楽しみながら、順番を守ったり、交替したり簡単なきまりを守って遊ぶようになる	友だちと生活する中で、良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動するようになる	様々な体験を通して人とのかかわる楽しさや大切さを味わい、思いやりの心が持てるようになる
	環境	身近な人と気持ち合う	保育士等とのかかわりの中で、信頼関係を築いたり、周囲に関心を持つようになる	安心できる保育士等とのかかわりの中で、周囲の人やものに関心を持ち、自らかかわろうとする	保育士等に見守られ、好きな玩具や玩具に興味を持ってかかわり、様々な遊びを楽しむようになる	積極的に探索活動を楽しみ、行動範囲が広がるようになる	身近な環境に親しみ、興味や関心を持ち、自然と触れ合うようになる	身近な環境に興味や関心を持ち、積極的にかかわるようになる	身近な社会や自然の環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えることを深めるようになる	身近な社会や自然の環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする
		言葉	保育士等に優しく語りかけられ、心地よさを感じ、喃語を発するようになる	保育士等と視線を合わせ、喃語や声、表情などを通してやりとりを喜ぶようになる	保育士等に優しく絵本を読んでもらい、心地よさを味わうようになる	保育士等の話しかけややりとりの中で声や言葉で気持ちを表そうとする	生活に必要な言葉がある程度分かり、したいこと、してほしいことを言葉で話すようになる	自分の思いを言葉で伝えたり、人の話を聞いたりして友達との会話を楽しむようになる	様々な機会や場で活発に話したり聞いたりして、生活の中で適切に言葉を使うようになる	自分の経験したこと考えたことなどを適切なことばで表現し、相手と伝え合う楽しさを味わうようになる
	表現	保育士等の声や音の響き、音色に親しむようになる	保育士等のわらべうたなどに合わせて体を揺らしたり、一緒に歌おうとする	生活や遊びの中で保育士等や友だちのすることに興味を持ってたり模倣したりするようになる	生活や遊びの中で保育士等や友だちのすることに興味を持ってたり模倣したりするようになる	興味のあることや経験したことを生活や遊びの中で表現するようになる	自分の思いや気づいたこと、感じたことをさまざまな方法で表現するようになる	感じたことや思ったこと、想像したことなどをさまざまな方法で自由に表現するようになる	友だちと工夫しあいながら、共通のイメージを持ち、ルールや役割分担を決めて遊びを展開し楽しむようになる	生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現をして伝え合いながら楽しむようになる
		食育の3大柱	1、楽しく食べる 人とのかかわり 好きな食べ物が増える	2、健康づくり 元気なからだ 咀嚼能力の獲得 生活リズム	3、食への興味 栽培・収穫体験、クッキング 伝統的な行事や郷土の食事 季節感・旬を取り入れた献立					
食育	食を営む力の基礎	一人一人の生活リズムを大切にしながら飲みただけ飲む	いろいろな食べ物を見る、触る、味わう経験を通して自分で食べようとする	食具を使って自分で食べようとする	保育士等が見守る中、自分で食事をしようとする	みんなと一緒に食べることを楽しむを知る	食事のマナーを身につけ、保育士や友だちと一緒に楽しく食事をすることを知る	行事食や郷土料理に興味や関心を持つ	栽培、食事などを通して、身近な存在に親しみを持ち、命を大切にすることを学ぶ	食べものからだとの関係に興味・関心を持ち、様々な食品を食べようとする
子育てに対する支援	子どもの育ちを家庭と共に支え、地域において実現するよう、全ての世代(在園親子、在宅親子、妊娠期やこれから親になる子どもたち、孫を持つ世代など)に働きかける									
小学校との連携	①子どもの発達に合わせた成長モデルとしての小学生(主に一年生)とのかかわりの保障 ②自分の育ちにおける肯定的な実感の確認の機会の提供 ③就学や学校を身近に感じスモールステップでイメージできる活動の経験と子どもへのかかわりの共有									
多様な子どもへの配慮	①家庭での生活時間を含めた子ども一人ひとりへの配慮 ②子どもの育ちにおいて課題が見られる場合には、市町村や関係機関と連携を図りつつ個別の支援を行う									
地域との連携	保育所保育の専門性を生かし ①地域の子育て支援 ②小学校との連携 ③小中高等学校の職場体験・見学の受入 ④地域の関係機関等との連携 ⑤虐待防止等に関する連携 等に取り組む									
安全管理	身を守る力を育てる。衛生・栄養・事故・防犯・災害時の対応などについて、発達に合わせて伝え、経験の機会をつくる。									